

# 日本の対アフリカ協力政策

～アフリカの自立的かつ持続可能な発展を目指して～

平成19年1月  
外務省

05年から3年間でアフリカ向けODA倍増  
05年から5年間でODA全体の事業量100億ドル積み増し

TICAD(アフリカ開発会議) の枠組の下での取組み



## 基本的考え方

アフリカのオーナーシップ  
～ NEPADの支援～

国際社会のパートナーシップ  
～ 関心喚起と支援の結集～

アフリカの多様性

人間の安全保障

南南協力

## 最近発表した我が国の支援策

### 対アフリカ支援 三つの柱

平和の定着

和平プロセス  
促進から  
復興支援まで  
の切れ目のない  
包括的取組

治安確保

政治ガバナンス  
体制移行

復興  
社会経済開発

アフリカの平和の定着のための  
新イニシアティブ(06年)  
(当面6,000万ドルの支援)

人間中心の  
開発

持続的発展の  
ための  
人的基盤造り

保健・医療

水と衛生

人材育成

食糧

保健と開発に関するイニシアティブ  
(5年間で総額50億ドル)(05年)  
対アフリカ感染症行動計画(06年)  
鳥・新興インフルエンザ対策(06年)

水と衛生に関する拡大パートナ  
シップ・イニシアティブ(06年)

4年間で1万人の人材育成(05年)

二国間及び国際機関を通じた  
食糧支援

経済成長を通  
じた貧困削減

アジアの  
開発経験の  
伝播

貿易・投資

インフラ整備

債務救済

農業・農村開発

開発イニシアティブ(05年)  
(3年間で100億ドルの資金協力)

EPSAの立ち上げ  
(12億ドルの支援)(05年)

最大49億ドルの削減を約束(03年)

ネリカ稲開発・普及  
アフリカン・ビレッジ・イニシアティブ  
(18カ国で実施)(05年)  
アフリカン・ミレニアム・ビレッジ  
(900万ドル)(05年)

# 平和の定着

開発の大前提となる持続的平和の達成に向けた、和平プロセス促進から復興支援までの切れ目のない包括的取組

治安確保、政治ガバナンス・体制移行、復興・社会経済開発の3分野で、アフリカにおける平和の定着を支援  
【重点地域】スーダン・西アフリカ・大湖地域

## < 具体的な取組み >

- 03年～05年に、**3億5,000万ドル**を超える支援。  
(DDR・小型武器対策、政治ガバナンス強化、国民和解、難民・国内避難民の帰還・再統合促進、コミュニティ開発(水・衛生・教育分野等)等)
- スーダンに対し、05年4月以降、**1億3,000万ドル**を上回る支援を実施。
- 「**TICAD平和の定着会議**」(閣僚級)を開催(06.2)
- 「**新たなイニシアティブ**」を表明。当面の措置として約**6,000万ドル**の支援を実施(06.1~3)

### < 地域機関を通じた支援 >

- アフリカ連合(AU)の平和基金へこれまでに**460万ドル**を拠出。

### < 平和維持活動(PKO)に対する支援 >

- アフリカで展開中の国連PKO(現在6ミッション)の費用の2割を負担。05/06年(単年)に**約7億5,800万ドル**の貢献。
- コンゴ(民)警察訓練や大統領選挙・議会選挙への選挙監視団派遣を通じたMONUCとの協力・支援

### < 国連平和構築委員会を通じた支援 >

- 国連平和構築委員会におけるシエラレオネ、ブルンジに関する議論に貢献。平和構築基金へ**約2,000万ドル**拠出。

### < 「人間の安全保障」の推進 >

- 「**人間の安全保障基金**」を活用し、00年～06年にアフリカで**51件約7,735万ドル**の支援を実施。

# 人間中心の開発

## アフリカの持続的発展のための人的基盤造り

保健・医療、水と衛生、人材育成、食糧の4分野で、アフリカの持続的発展を支える人的基盤造りを支援

### < 具体的な取組み >

➤ TICAD の際、5年間で**10億ドル**の無償資金協力の目標を表明。06年12月までに**約16.3億ドル**を実施。

#### < 保健・医療 >

- 途上国における保健MDGs達成に向けた取組を支援するため、『**保健と開発に関するイニシアティブ**』を公表(05.6)。5年間で総額**50億ドル**を目処とする協力を実施。
- 「**対アフリカ感染症行動計画**」を公表(06.5)
- マラリアの脅威を軽減するため、長期残効型蚊帳を07年までに1,000万帳供与予定。06年12月までに**約740万帳**を供与済み。
- 06年末までに、世界エイズ・結核・マラリア基金へ**約4億7,633万ドル**を拠出済み。07年分として**約1億8,600万ドル**を拠出予定。
- 鳥・新興インフルエンザ対策支援として、啓発活動支援、機材供与、専門家派遣等のために**約460万ドル**を支援(06)。
- アフリカでの感染症等の疾病対策のための研究、医療活動で顕著な功績を挙げた者を表彰する**野口英世アフリカ賞**を創設(06.7)。08年のTICAD の機会に第1回授賞式を実施予定。

#### < 水と衛生 >

- 「**水と衛生に関する拡大パートナーシップ・イニシアティブ(WASABI)**」を公表(06.3)。
- 水と衛生分野の二国間ODAの**約41%**を日本が供与(00~04)。

#### < 人材育成 >

- 05年より、4年間で**1万人**を目標とするアフリカの人々の人材育成を実施中。

#### < 食糧支援 >

- アフリカにおける飢餓撲滅のため、**122.44億円**の支援を実施(05)。

# 経済成長を通じた貧困削減

## アジアの開発経験の伝播

アフリカの経済成長を支えるため、経済成長の鍵となるインフラ整備、貿易・投資促進、債務救済、農業・農村開発を実施

### < 具体的な取組み >

#### < 貿易・投資促進 >

- 「**TICADアジア・アフリカ貿易投資会議(AATIC)**」を開催し、アジア・アフリカの間貿易・投資の促進を通じたアフリカ開発を実現するための政策につき議論(04.11)。
- 「**アフリカ・アジア・ビジネス・フォーラム(AABF)**」を開催
- 貿易を構成する'Produce', 'Sell', 'Buy'の各局面において、ODAによるキャパシティービルディングやインフラ整備等の支援に加えて、後発開発途上国(LDC)産品の市場アクセスの原則的無税・無枠化等を含めた包括的支援を行う「**開発イニシアティブ**」を発表(05.12)。
- 「**一村一品運動**」の推進

#### < インフラ整備 >

- TICAD (93年)以降、アフリカで**約50億ドル**のインフラ支援を実施。
- 「**アフリカ民間セクター開発のための共同イニシアティブ(EPISA for Africa)**」の立ち上げ(05年6月)。5年間で**最大12億ドル**の支援を予定。
- 「**NEPADインフラ短期行動計画(STAP)**」に基づくインフラ整備を支援。

#### < 債務救済 >

- 03年のTICAD 時、アフリカのHIPC諸国等に対し、最大で**49億ドル**の債務削減を約束。

#### < 農業・農村開発 >

- アフリカにおける「緑の革命」実現のため、ネリカ稲の品種開発・普及促進を支援。
- 地方農村の自立のための基盤整備や能力強化等を組み合わせた地域社会の開発を支援する「**アフリカン・ビレッジ・イニシアティブ(AVI)**」を**18カ国**で実施。
- アフリカの貧困農村の能力強化を支援するための「**アフリカン・ミレニアム・ビレッジ(AMV)**」に**900万ドル**超の支援。